

令和8年度 情報科

教科	情報	科目	情報演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	情報 I 徹底演習（数研出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

1年で学んだ情報 I の内容を発展させ、実社会において役立つ知識・技能につながる内容まで深めていきます。数学で学んだ論理や集合、確率などの知識と情報技術を組み合わせて、問題を解決したり、新たな価値を創造したりする力を養います。  
予習・復習が必須の科目となります。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

情報技術や知的財産とその権利について理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】

問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を効果的に活用する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】

新しい技術や仕組みについて興味をもち積極的に学ぶ姿勢を身につける。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	プログラミング	Python を用いて初歩的なプログラムから基礎的なアルゴリズムを含む内容までプログラムを作成する。	a: 基本的な命令とその記述法を理解する。 b: 簡単な問題を解決するアルゴリズムを考えることができる。 c: より良いプログラムを自ら探究する。	実技テスト	実技テスト	小テスト 観察
2学期	プログラミング	Python を用いて様々な課題を解決するプログラムを作成する。	a: 課題を解決するプログラムを記述出来る。 b: 同じ課題を複数のアルゴリズムで記述できる。 c: より良いプログラムを自ら探究する。	実技テスト	実技テスト	小テスト 観察
	総合演習	各種演習問題に取り組み、基礎的な知識の定着を図る。	a: 知識を問う問題に正しく解答できる。 b: 課題を解決するための方法を考案し意見を文章や図で表現できる。 c: 予復習に積極的に取り組み、主体的に学ぶ。	小テスト	小テスト	課題提出 観察
3学期	総合演習	各種演習問題に取り組み、基礎的な知識の定着を図るとともに、応用力を身に付ける。	a: 知識を問う問題に正しく解答できる。 b: 課題を解決するための方法を考案し意見を文章や図で表現できる。 c: 予復習に積極的に取り組み、主体的に学ぶ。	小テスト	小テスト	課題提出 観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度